




Δ
Coll
2010
Bx. 331
f. 6

ロズバーグ
時報
no 1
八月三日
知事
ロズバーグ
知事
八月三日
知事



創刊につき御挨拶

歴史なき民族は、故郷を離れざるを得ず、
しむるは、いかに今般知事(局)上には、
我々のヤマンノ生活の記録を、
置かるゝ属し、時報を發行する事と
なり、去る八月五日、委員會が催され、
本日(を以て)ロズバーグ時報の
一号を發行すべしと、なりました。
成るべく内容の充實を期し、而して諸君
のお氣を、召すものを作りたいと、心
り身は居ります。仲々希望通り
には、考らぬと思ひます。と言ふのは、第一
に、我々の力の足らぬ事を、看みさせられ
ます。其、他にスペースの不足、環状
からの不自由もあり、特に戦報の如きは、
放送に比して、タイムが、遅れ、且詳細
さ欠く、恐小もあり、而して、凡ての
欠点は、諸君の御協力によつて、大に
補はれます。すから、此、ロズバーグ時報

日と共に良き初になり行くやう切に
諸君の御支援をお願ひ致します

南太平洋作戦

日米西海軍、ソロモン沖で衝突
華府ロP. 發電に據れば、ソロモン
沖に於て、日米西海軍衝突大海戦
中である。空中も亦、激戦入り、乱れ
て、壯烈なる空中戦を展開して
おる。米軍の損傷亦、發表され、
るも、日本軍は既に戦艦七隻を損
じ、其中に母艦二隻、戦艦一隻
も含まれる。と海軍省で發表
した。コンミンニケに據れば、今
回の敵の逆襲は、ツング島奪還の
企圖からの、死闘的決意を示した。もの
で、其、戦果、勝勢が、日米向を利
するかに依り、始めて攻勢を取つ
て、ある。米軍の太平洋作戦に、多大
なる影響があるものとせられ、この
企圖の逆襲、艦隊、日本海軍、太平
洋上の中樞、トルック基地より派遣
され、たものと、観測されて、あるが、
このトルック基地より、ソロモン群島
まで、僅かに、千哩、カロライン群島中

獨ソ戦線

の一巨島である。
スターリン、スラド、
独ソ戦線、
モスコ、廿六日、發電、ロP. 電によれば、
独戦車、歩兵部隊は、スターリン、
ド、西北方に於て、赤軍と激戦を
展開、大損害を與へたと、言ふ。
独方のレ、テ、大放送によつて、羅馬
軍は、テムリ、キ、ク、を占領し、エル
フランス、に、獨、獨、が、揚、場、さ、る、た。
独軍は、スターリン、スラド、前面に於て、
前進し、猛進、進軍、により、市中に火
災を起さしめ、軍事工場、軍事
施設を破壊し、た、と、言ふ。
ストックホルムに達し、た、アンカラ
電によつて、ソ、ソ、聯、軍、は、スターリン、
スラド、及び、バ、バ、オル、が、流、城、の、工場を
後方に移動せしめ、た、と、あり、スタ
ーリン、スラド、の、市民は、市の外、都
に、整、壕、を、構築、中、だ、と、言、は、れ、る。
ラ、ラ、ウ、ウ、紙、の、報道によつて、獨軍
は、バ、バ、オル、が、ド、ン、回、廊、に、援、軍、を
集結し、一、大、攻、勢、に、出、て、居、る、と
言ふ。

ケント公御戦死

倫敦發電、ロP. 電によつて、英國の
皇弟ケ、下、公、は、廿五日、サ、サ、ラ、
ンド、飛行艇にて、氷、蘭、に、向、け、る、
途中、ス、ス、ト、ラ、ン、ド、北、方、に、於、て、墜、
落、御、戦、死、を、遂、げ、た、と、言、は、れ、る。
全部も、惨死を遂げた。

日交換船入港

ス、ス、駐、日、大、使、一、行、千、名、を、乗、せ、
た、ク、リ、ッ、ソ、シ、ョ、ル、ム、ロ、フ、は、廿五日、
紐、育、入、港、外、交、官、數、百、名、に、上、陸、し、
た、が、残、余、は、下、日、に、が、審、問、中、で、數、日、
抑留。

四月 蝕

昨夕七時二分より月蝕始まり、十
時半まで皆蝕。
四、蝕(サンリ)を生捕る。
第十中隊便所で今朝ス、イ、ヒ、
を、見、生、捕、つ、た、が、過去、二、三、月、間、
三、足、目、で、ある、第、二、寮、で、保、管、

四、夜球選手の集り

明夕(本)食後第九中隊の
社交室で、テニス、フ、レ、イ、ヤ、の、集
りがある。同好者、日、中、考、集、を
希ふと。

新幹部決定

知事に安武氏

我々キャンブル員のお父さん一即ちガナ
の選挙が去る廿五日全寮長會議に
於て行日小長が臨時ガナーの安武氏
が當選した尚當日當選せる知事
局新幹部は左の如し

- 知事 安武嘉一郎(九甲隊)
- 副知事 空井健治(土中隊)
- 書記長 大角裕吉(土中隊)
- 厚生部長 森田卓立(十二隊)
- 作業部長 武田左文司(土中隊)
- 卸運部長 杉山一(十中隊)
- 運送部長 石崎千松(土中隊)
- 以上任期三月
- 医療部長 古河内貞一(土中隊)

司郷者の親睦

鹿児島馬鹿人日去る廿二夜親睦會を
催した故郷者四名、福岡縣人も同夜
親睦會を催した故郷者五名、廿五日夜
は熊本縣分集會出席者十名、和歌山縣
人は百五十九名、屋に合し親睦を圖つた。
其三教信口鎌江考、二井昇之助、向良の
送別會を催し出席十余名、鳥取縣人は
本池房重氏送別會を催す出席十五名

大演藝會延期

第九中隊では来る廿九日大演藝
會を準備すべく大車輪を準備中
であったが、塩田氏逝去に吊意を
一週間延期とした。

おと

アイヌ木の
收容所

華州にユアラツプ。キャンブル
モニーに收容さ小居る日本人口
アイヌ州南部地方のミニドカ
リケケレンセンターに移動中
て来月中旬頃までには移動を完
了する筈であるが先発隊の人数
第信が届いた、その大要を紹介す
るとは如くである。

私共はポートランドを經由
レコロンビア河に沿ハフト
リバー、ペンデルトン、カル
トウエル、ホイセを経て當
地に参りました。此処のキャン
ブルは廣野の真只中に建て
られた処で頗る殺風景です
がバラックの内物は以前の処より
多少改善され居ります。便所
も洗面所も未だ出来上り居
りませんが、總て永久的施設で
すから材料は上等品で、完成
すれば相當立派なものとなり
ませう。病院も立派なものに
建てらる筈です。

潮田老人長折リ同院愛

輸血に繋げられた日本人

廿四日の午後九時全寮長會議
の最中に古河内國手より、同日切
南手術を行つた能本縣人潮
田琢平(六十六)の容態凶悪で
ある、輸血を存さずれば生命
危篤であるとし會議を延期
し輸血の持志者各寮長に
通告を依頼せし所、忽ち五十
名の募集を得内六名檢血の結果
羽賀功氏、青藤八氏より輸血
療治を行ふ十時終了、百八度
の高熱が百度に降下し小瘰
も得た小と廿五日午前二時迄
能心悪化し遂に四時、介死す
れた。

同氏はアラスカに多年居住
し當キャンブルハイヤーとなり
第十中隊第一寮にあり去る
廿三日腰痛を訴へ診察の結果
果ホド中尉古河内、秋山、三
國手に依り切用手術を行つた
が遂に重症に陥り死去した
ものである。是に痛恨に堪へ
ない、葬儀は仲式により執行
される。

第三大隊人名録

第九中隊 第一寮

- 福岡縣 安河内泰介、有本政藏
- 徳坂隆太郎、今泉甚平
- 川浪大藏、城石義雄
- 棚町虎造、平田徳次郎
- 和歌山縣 川崎次平、板田文太郎
- 小倉政太郎、澤崎米藏
- 山下瑛一
- 鹿児島縣 鹿兒島縣人 本林田英藏、佳吉幸左門
- 竹下貞彦、竹下榮世
- 恒吉岩然
- 福島縣 金子兵太郎、西方清藏
- 廣島縣 的場直矢、山根三郎
- 神奈川縣 杉山千代春
- 長野縣 長上泰勇
- 熊本縣 能本忠
- 城戸正樹、比條泰房
- 佐賀縣 小柳、小柳
- 三重縣 森下幸之助
- 岡山縣 岡田、岡田
- 鳥取縣 佐木、佐木
- 群馬縣 角田、角田
- 以上